



2021年7月分

 TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
 東京税関羽田税関支署


羽田空港貨物取扱量

総取扱量が4ヵ月連続、積込量は5ヵ月連続、取卸量は4ヵ月連続で増加

概要

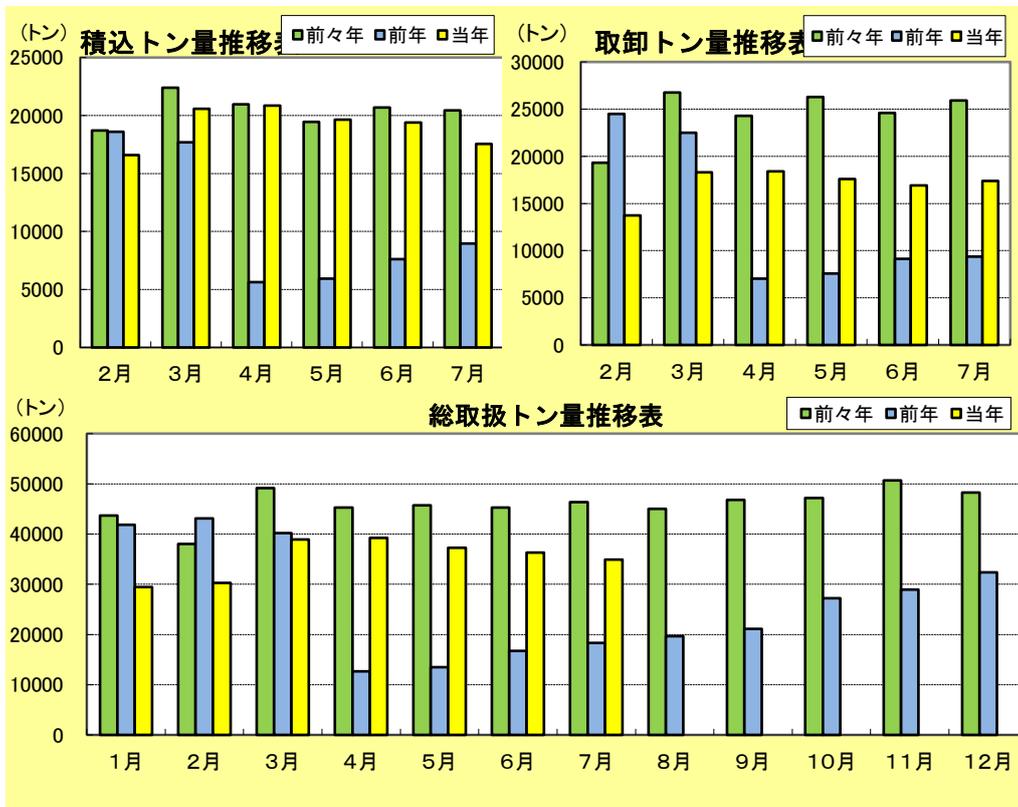
2021年7月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 34,936トン(前年同月比 90.9%増)

積込量 17,564トン(同 96.2%増)

取卸量 17,372トン(同 85.8%増)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量と取卸量が4ヵ月連続でプラス、積込量は5ヵ月連続でプラスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 1,144トン(前年同月比 131.1%増、シェア12.3%)

その他地域通関 8,180トン(同 168.8%増、同 87.7%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、5カ月連続でプラスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 5,194トン(前年同月比 58.1%増、シェア 49.5%)

その他地域通関 5,291トン(同 64.3%増、同 50.5%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、4カ月連続でプラスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 8,240トン(前年同月比 52.2%増)

取卸量 6,887トン(同 142%増)

となり、前年同月比で見ると、積込量は5カ月連続でプラス、取卸量は4カ月連続でプラスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2021年7月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 1,197トン(前年同月比 156.3%増、シェア 23%)

ドライ貨物 3,997トン(同 41.8%増、同 77%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、水産物23.9%(同59.6%増)、果物33.4%(同431%増)、野菜等18.2%(同171.2%増)、植物(切花等)10%(同177%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2021年6月			2020年6月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	5,194	158.1%	100.0%	3,285	39.9%	100.0%
生鮮	1,197	256.3%	23%	467	45.6%	14.2%
ドライ	3,997	141.8%	77%	2,818	39.1%	85.8%